

そのぐらいのこと！<2月18日（月）朝礼講話（鬼頭先生）>

手に持った物を見せて、「これ何か分かる？」と問いかけました。それは、3学期になってから特別教室などの扉に貼られた掲示物です。そこには、「開けたら閉める」と書いてあります。本校では、音楽室など施錠をしていない特別教室があります。ところが、室内に誰もいないのに扉が開けっ放しになっていることが度々ありました。そこで、注意を促すために掲示物が貼られました。そこにはさらに「そのぐらいの事、おれにもできる！」と書いてあります。誰にでもできる「そのぐらいのこと」がいかげんになれば、大切なこともできなくなってしまう。扉を閉める、机の上を片付けるなどなど、そのぐらいのことがしっかりできるようになってほしいと思います。



小さなことができ
ない者は、大きな
こともできない！



だめ！絶対！<2/12 薬物乱用防止教室（6年）>

蟹江警察署生活安全課から松本さんを講師に招き、6年生の児童を対象に「薬物乱用防止教室」を行いました。パワーポイントの資料を見ながら、薬物の危険性について話を聞きました。「シンナー、覚醒剤、大麻、合成麻薬、危険ドラッグ」はもちろんのこと、喫煙や飲酒の害についても分かりやすく説明してくれました。薬物の見本（模造品）も回覧し、興味を引く授業になりました。薬物の危険性を知り、決して手を出さないという決意をもってくれたらと思います。



歯は一生の宝物！<2/15 学校保健委員会>

学校歯科医の十四山歯科の小出先生と歯科衛生士の舟橋先生を講師に迎え、全校児童を対象に学校保健委員会を開きました。本校は、平成28年度から3年間、養護教諭が中心となり、「歯のバトンタッチ運動」に取り組んできました。永久歯に生え替わる小学生の時期に歯の健康について学ぶことは大変重要で、この運動を通して本校児童の意識が高まり、むし歯や歯肉炎の状況が改善されてきました。永久歯は生え替わりません。健康な歯は一生の宝物です。



室内でも楽しい！<2/20 ふれあいタイム雨天バージョン>

2月20日のふれあいタイムは雨天バージョンで行いました。昨年度までは運動場が使えないと読書に変更になっていましたが、今年度は、ふれあい班活動の充実を図る中で、5・6年生のリーダーが雨天の場合の活動も考えるようにしました。そのため、前日の雨で運動場が使えなかったのですが、どの班も室内で「リーダーを探せ」、「くねくねジャンケン」、「ハンカチ落とし」などを和気あいあいとした雰囲気を楽しむ姿が見られました。

